

志津川高等学校

校訓 真・和・敬



1 基本データ

創立：大正13年
 課程・学科：全日制課程・情報ビジネス科、普通科
 生徒数：237名
 所在地：〒986-0775
 本吉郡南三陸町志津川字廻館92-2
 TEL：0226-46-3643
 FAX：0226-46-3648

ホームページアドレス：
<http://www.sizugawa-hs.myswan.ne.jp/>
 電子メールアドレス：
 chief@sizugawa-hs.myswan.ne.jp
 主な交通機関：
 JR気仙沼線BRT 志津川駅下車 徒歩20分
 町営バス 志津川高校前下車 徒歩5分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

明日につながる希望の架け橋

南三陸町地域連携型中高一貫教育を実践する本校では、「基礎学力の向上」「一人ひとりの個性の伸長」「異年齢集団の中での社会性の育成」を教育の柱とし、町内の2つの中学校（志津川・歌津）とともに様々な事業を展開しています。一貫教育の更なる推進と定着を図り、きめ細かな指導により生徒の多様な進路実現を目指しています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

平成26年に創立90周年を迎えた本校は大正13(1924)年に町立志津川実科高等女学校として創立、戦時中の志津川高等女学校を経て、戦後の学制改革で県立男女共学の宮城県志津川高等学校となりました。平成8(1996)年に学科改編を行い、商業科を情報ビジネス科に改編し、普通科にも大規模な類型選択制を取り入れました。

さらに平成15(2003)年度から、南三陸町内の中学校と本校との間で、県内初の地域連携型中高一貫教育がスタートしました。この「南三陸町地域連携型中高一貫教育」は、中学校・高等学校の6年間で計画的・継続的な学習を行うことにより、「たしかな学力」「かがやく個性」「ゆたかな社会性」を培い、広い視野で21世紀を主体的に生きる人間の育成を目指しています。この教育目標をもとに「基礎学力の向上」「一人ひとりの個性の伸長」「異年齢集団の中での社会性の育成」の3つの柱に沿った連携事業を展開しています。

(2) 設置学科等

過去3年間の学科コース別・前後期選抜・連携型選抜別の出願者数・合格者数

<前期選抜>

		H29	H28	H27
情報ビジネス科	出願者数	4	2	0
	合格者数	3	2	0
普通科	出願者数	6	3	3
	合格者数	5	3	2

<連携型選抜>

		H29	H28	H27
情報ビジネス科	出願者数	4	14	10
	合格者数	3	8	9
普通科	出願者数	53	49	85
	合格者数	48	45	83

<後期選抜>

		H29	H28	H27
情報ビジネス科	出願者数	6	11	5
	合格者数	5	9	5
普通科	出願者数	4	6	1
	合格者数	2	6	1

(3) 教育方針

知性を磨いて真理を探求し、自他を敬愛できる寛容と協和の心を持った、誠実で愛情豊かな人材の育成をめざし、次の目標達成に努めています。

- ①中学校における教育の成果をさらに発展拡充し、国際社会の有為な形成者として必要な資質を養う。
- ②社会において果たさなければならない使命を自覚し、個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養う。
- ③どのような社会の変化にも対応できる柔軟な思考力を持ち、豊かな感性と思いやりの心を持った情操豊かな人格の形成に努める。

(4) 教育課程の特徴

本校では生徒一人ひとりの希望進路達成を目指し、進路希望に応じたカリキュラムを設定しています。更にその進路希望達成の力となる授業においては、習熟度別学習(数学、英語、簿記)、T・T(連携型中高一貫教育の実施に伴う英語・数学における教員の乗り入れ授業、英語のALTとの共同授業、情報ビジネス科の総合実践等)が実施され、生徒一人ひとりの学力に対応した学習が進められています。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

行事の中でも、合唱コンクール、旭ヶ浦祭、体育祭は、生徒が特に燃える三大行事です。合唱コンクールが近づく各教室から練習の歌声が響きます。旭ヶ浦祭では、文化部による研究発表や作品展、演奏の他にクラス毎の模擬店が校内を盛り上げます。前日には趣向を凝らした仮装行列が地域を練り歩き盛り上げます。体育祭では、各種球技の他長縄跳びや綱引きなどの種目

が行われ、熱戦が繰り広げられます。

生徒会の主な活動は、先に紹介した行事の運営に携わったり、募金活動や他校生徒会との交流会などを実施したりすることです。こうした活動を通してリーダーシップを高めることができます。

また、本校には運動部・文化部ともに多彩な部があります。平成28年度は陸上競技部が県新人大会フィールド部門で初の総合優勝を果たし、棒高跳び、ハンマー投げ、やり投げで東北大会に、また郷土芸能愛好会が全国高等学校総合文化祭に県代表として出場しました。

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H28	H27	H26
大学	11	17	26
短期大学	3	6	5
専各学校	31	30	36
就職(県内)	35	53	44
就職(県外)	3	2	4
その他	0	0	0
卒業生計	83	108	115

主な進路先(平成29年3月卒業生)

()内は人数、(1)は省略。

<私立大学>

東北医科薬科大、東北学院大(2)、東北福祉大、東北生活文化大、尚綱学院大、石巻専修大(4)、東北芸術工科大

<短期大学>

仙台青葉学院短大、聖和学園短大、昭和音楽大短大

<専修各種学校>

葵会仙台看護専門、帝京高等看護学院(2)、気仙沼医師会付属看護、石巻高等技術専門、宮城調理製菓専門(2)、東北保健医療専門、仙台リハビリテーション専門(3)、仙台リゾート&スポーツ専門(2)、仙台コミュニケーションアート専門(3)、仙台こども専門、仙台ウェディング&ブライダル専門(2)、仙台大原簿記情報公務員専門(2)、仙台医療専門(2)、東京法律専門(3)、武蔵野栄養専門

<就職>

宮城県職員、陸上自衛隊、南三陸農業協同組合、気仙沼信用金庫(2)、小宮山印刷工業、ケーエスフーズ、丸平木材、歌津つつじ苑、みやぎ登米農業協同組合、登米村田製作所、七十七銀行、トッパンパッケージプロダクツ(2)、緑水亭、ホテル白萩、王将フードサービス、コメリ 他

3 入試情報

(1) 募集定員

普通科 男女 80名
 情報ビジネス科 男女 40名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

普通科 定員の15%以内(12名以内)
 情報ビジネス科 定員の25%以内(10名以内)

ロ 出願できる条件

《普通科》

次の1～4の全ての条件を満たしていることを自己アピールできる者

- 1 将来の目標が明確で、高校入学後も目標に向かって継続的に努力する意志を有すること。
- 2 特に国語・数学・英語等の普通教科・科目に対する興味・関心と学習意欲を有すること。
- 3 基本的な生活習慣が身に付いており、学習成績が優良であること。
- 4 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ経験を有すること。

《情報ビジネス科》

次の1～4の全ての条件を満たしていることを自己アピールできる者

- 1 将来の目標が明確で、高校入学後も目標に向かって継続的に努力する意志を有すること。
- 2 特に商業科目に対する興味・関心と学習意欲を有すること。
- 3 基本的な生活習慣が身に付いており、学習成績が優良であること。
- 4 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ経験を有すること。

ハ 学力検査

各学科とも 国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

各学科とも 個人面接(配点75点) 10分
 ※ 内容は志望動機等の基本的な質問となります。

(3) 連携型選抜について

※連携型選抜は連携2中学校(志津川・歌津)のみ対象

イ 学科別の募集割合等

普通科 定員の80%以内(64名以内)
 情報ビジネス科 定員の70%以内(28名以内)

ロ 学力検査

各学科とも 国語、数学、英語 各100点
 ※ 前期選抜の学力検査問題を用いて実施します。

ハ 面接

各学科とも 集団面接(配点75点) 20分
 ※ 1グループ(5名程度)で実施し、内容は志望動機等の基本的な質問となります。

(4) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

普通科 4名(予定)
 情報ビジネス科 2名(予定)

ロ 面接・実技の有無

各学科とも なし

ハ 傾斜配点の有無

各学科とも なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重

各学科とも 3:7

ホ 学科の第2志望

該当なし

(5) 平成29年度転編入学試験について

(7月以降分)

日程	対象学年	試験科目等
平成29年7月～12月随時	全学年	国・数・英・面接
平成30年1月～3月随時	新2,3学年	国・数・英・面接
編入学:3月下旬	全学年	国・数・英・面接

4 写真で見る学校生活



我が校のPRポイント

勉強や部活動で、共に学び、共に励まし合って成長していく。それが志津川高校の生徒です。生徒の目標や進路の実現に向け、時には親身に時には厳しく指導する。それが志津川高校の先生方です。そのような生徒と先生方が力を合わせ、一人ひとりの多様な進路を達成してきた志津川高校に、今年度『志津川高校学習支援センター』が設置されました。南三陸町、NPO法人キッズドアの協力の下、より充実した学習環境で生徒の学習を全面的にサポートします。

学校創立から93年、震災から6年という月日が経ち、志津川高校生はこれまでの歴史と伝統に敬意を表しつつ、新たな未来を築く第一歩を踏み出しました。「地域と日本、世界をつなぐ希望の架け橋」を目指す。それが志津川高校です。